

■第1回大宮駅東口周辺公共施設再編 推進本部会／幹事会 合同会議

【日時】 平成28年1月20日（水） 午前10時00分～午前11時00分

【場所】 政策会議室

【出席者】 副市長、技監、都市戦略本部長、財政局長、市民局長、
スポーツ文化局長、経済局長、都市局長、大宮区役所区長、
行財政改革推進部長、財政部長、市民生活部長、区政推進室長、
商工観光部長、都心整備部長、都市計画部長、大宮区役所副区長、
管理部長、学校教育部長、生涯学習部長、生涯学習総合センター館長、
中央図書館長

【議題】 ① 大宮駅周辺公共施設再編のこれまでの経緯について
② まちづくりの方向性と課題について
③ 今後の検討体制について

< 提案説明 >

議題①～③について、事務局（大宮駅東口まちづくり事務所）から次のような説明があった。

①大宮駅周辺公共施設再編のこれまでの経緯

- ・ 平成22年に策定された「大宮駅周辺地域戦略ビジョン」では、公共施設再編による連鎖型まちづくりを優先的に取り組むべきプロジェクトとして位置付けている。
- ・ 「大宮駅周辺地域戦略ビジョン」策定以降、公共施設再編に関する具体的な検討が開始され、大宮区役所や市民会館おおみやのホール機能の移転等が決定。
- ・ 今年度からは、再編が決まっていない施設の方向性や、移転後の跡地活用方針などについて、新たに全庁的な体制を構築し検討していくこととなった。

②まちづくりの方向性と課題

- ・ 大宮を取り巻く環境として、国レベルで大宮が大きく位置付けされることとなった。
- ・ 内容としては、今年3月に国土交通大臣決定が予定される「首都圏広域地方計画」において、大宮が東日本の各圏域を連携・融合する対流拠点として、また、さいたま市が災害時における首都圏のバックアップ拠点としていく、といったものである。
- ・ 国レベルの計画の中で大宮の位置付けが具体的に記述されることにより、大宮に求められる機能がますます高まる中、大宮駅東口の公共施設を再編することで、都市機能の充実と地域間の連携を図っていく必要がある。
- ・ まちづくりの考え方として、駅前の賑わいを創出していく拠点と、地域を連携する拠点という二つの拠点形成を設定し、公共施設の再編について検討を行ってきた。

- ・ 駅前賑わい拠点については、「商業・集客」、「広域的な連携・交流」、「情報発信」、「広場や歩行空間」などが、求められる機能として考えられる。
- ・ 一方、地域連携拠点は、「地域のコミュニティ」、「文化交流」、「防災機能を兼ね備えたゆとり空間」、「都心居住」などが、求められる機能と考える。
- ・ 今後、公共施設の再編や跡地の活用の方針は、従来の考え方にとらわれず、まちづくりの視点も含めて評価していく必要がある。
- ・ また、課題として、方針が決まっていない施設・跡地があることや、公共施設マネジメントアクションプランにおける各施設の改修や更新の時期がバラバラであることが挙げられる。
- ・ 推進本部では、従来の公共施設マネジメント計画にとらわれずに検討を進めて行くことが必要である。

③今後の検討体制

- ・ 「大宮駅東口周辺公共施設再編推進本部設置要綱」に基づき、都市局担任の副市長を本部長、技監を副本部長、関連する各局長を本部員とした推進本部を本日付けで設置する。
- ・ また、都心整備部長を幹事長とした実務組織となる「幹事会」、そして必要に応じて設置される「プロジェクトチーム」といった構成である。
- ・ 今後は、こういった検討体制によって全庁的な検討を行い、大宮駅東口の公共施設再編に関する方針を策定していくこととする。

< 意見等 >

- ・ 国土形成計画では、大宮が首都圏と東日本を結ぶ玄関口となり、震災時には首都圏のバックアップ機能を担うということを前提条件として、大宮のまちづくり、公共施設再編の方向性を考えていく必要がある。
- ・ 国における位置付けにより、大宮のまちづくりを進めて行く前提条件が大きく変わった。大宮を、国レベルでの広域的な交流拠点として整備していく一つの取組みとして、公共施設の再編を推進することが重要。同様に、鉄道事業者等と検討を進めているグランドセントラルステーション化構想や大宮駅西口の取組みなど、大宮全体を大きな一つのプロジェクトと捉え、まちづくりを進めていく考えである。
- ・ 公共施設マネジメントアクションプランは一定のルールに基づいて機械的に当てはめたプランなので、今後の公共施設再編の方向性は、改めて検討していく必要がある。また、公共施設については総量規制があるので、これを考慮して検討していくべき。
- ・ 今後の検討にあたり、国の計画や戦略ビジョンなどの上位計画に基づくことは前提であ

り、まちづくりを進める上ではとても重要なことと考えるが、財政見通しも厳しい状況の中、財源に配慮した議論をお願いしたい。

- 公共施設にはそれぞれ所管があり、それらの再編を個別に議論することは困難。本推進本部では、所管を超えた市全体の考えを踏まえ、基本方針を組み立てていくのが本部会議の与えられた役割である。

<その他>

第2回の推進本部会議については、3月中旬に開催予定。また、幹事会は、本部会議に先立ち開催予定。